年間授業計画 新様式例

高等学校 令和 4 年度 (1 学年用)教科 国語 科目 言語文化

 教 科: 国語
 科 目: 言語文化
 単位数: 2
 単位

対象学年組:第 1学年 1組~ 4組

教科担当者: (全組: 森)

使用教科書: (新編 言語文化 大修館書店)

教科 国語 の目標:

【知 識 及 び 技 能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】 言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯 にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 言語文化 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に	したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で 伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げた り深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、障害に渡って読書に親しみ、自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標 指導項目・内容		領域		ŧ	評価規準		思	能	配当
			話・聞	書	読	正Ш	М	(C)	,E	時数
	1言葉と出会う 【知識・技能】・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解する。 【思考・判断・表現】・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確にとらえる。 【学びに向かう力】・言葉についての筆者の考えを読み取ることに興味をもち、日常使っている言葉を見つめ直す。	・指導事項 随想の読解方法 ・教材「言葉の森を育てよう」 「漢字と仮名の使い分け」			0	【知識・技能】 ・言葉には、文化の継承、発展、創造を支え る働きがあることを理解している。 [(1) ア] 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏ま え、内容や構成、展開などについて叙述を 基に的確にとらえている。 [B(1)ア] 【学びに向かう力】 ・言葉についての筆者の考えを読み取ること に興味をもち、日常使っている言葉を見つめ 直そうとしている。	0	0	0	5
	2 古文に親しむ 【知識・技能】 ・離の発言かに注意し、物語の内容 を読み取る。 ・漢字の読みと日本の言語文化についての理解断・表現】 ・「思考読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考る。 ・「読むこと」において、薬章の構成や展開、表現のしかた、表現の特色について所述を表現のしかた、表現の特色についてに訪むこととにといて、文章の特色についてがありまり、音楽を明、表現のしかた、表現の特色についてが記さとに異様をもち、積極的にする。	・指導事項 歴史的仮名遣いの理解 古典文学の読解方法 ・教材「古文への招待」 『宇治拾遺物語』「十二の『子』 文字」 ・一人 1 台端末の活用 等			0	【知識・技能】・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 [(1)ア]・時間葉の変化について理解を深め、古典の言葉とのつながりについて理解している。 [(2)エ] 【思考・判断・表現】・「能むこと」において、作品や文章に表れているもの見方、感じ方、考え方を捉え、れ容を解彰している。 [B(1)イ]・「能むこと」において、文章の構成や展開、表現のしかた、表現のしかた、表現の特色について評価している。 [B(1)ヴ] 【学びに向かた、表現の特色について評価している。 [B(1)ヴ] 【学びに向かう力】	0	0	0	3
1 学	定期考査						0	0		1
期	3 表現を味わう 【知識・技能】 ・文章の意味は、文脈の中で形成 されることを理解する。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の 構成や展開、表現のしかた、う〕 【学びに向かう力】 ・登場人物の人物像や心情を読み 取ることに興味をもち、作品の構 造を理解する。	 ・指導事項 小説の読解方法 ・教材『とんかつ』 ・一人1台端末の活用 等 			0	【知識・技能】 ・文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。 [(1) エ] 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現のしかた、表現の特色について評価している。 [B(1)ウ] 【学びに向かう力】 ・登場人物の人物像や心情を読み取ることに興味をもち、作品の構造を理解しようとしている。	0	0	0	6
	4 随筆を楽しむ 【知識・技能】 ・古典の世界に親しむために、古典を読む性別に親要な文語のいてきり、古まり、古まり、古まり、古まり、古まむり、古まむり、「悪者・判断・表に別いて、章の記を正確に記みいて、東記がいて、「古文の読みに関る。・「読むよれているもの、内容を解釈して方、表え方を捉え、大り、自分の表えたものかり、自分の考えをもつ。	・指導事項 古典(随筆)の読解方法 ・教材『徒然草』 ・一人1台端末の活用 等			0	【知識・技能】 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 [(2) ウ] 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえ、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 [B(1)ア]・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 [B(1)イ] 【学びに向かう力】 ・『徒然草』に興味をもち、作者のものの見方や感じ方を読み取り、自分の考えをもとうとしている。	0	0	0	8
	定期考査			0	0		0	0		1

お歌の おwo おw	_	_ 1.0 2	He Minds and				1 1 - Mr. 11 - Mr. 1				
1		・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解する。 【・「競・計算・において、文章の種類を踏まる」、「ない、大変を構成、大変を構成を踏まる。、「ないて、政・を基に的確に関などについて、なが、展に関などについて、第者の方と、では、一、大変を、というない、ない、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	・教材「足し算の文化、ほどほど				外国の文化との関係について理解している。 [(2)ア] 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確にとらえている。 [B(1)ア] 【学びに向かう力】 ・日本文化の特徴について筆者の主張をとらえることに興味をもち、日本文化の特色につ	0	0	0	3
「	2 学	【知識・技能】 ・詩歌に親しみ、理解するために必要な 充語のきまりや訓読のきまり、詩歌の形 式、古典特有の表現などについて理解する。 【思考・判断・表現】 ・詩歌の形式や表現の特徴について理解 を深める。 【学びに向かう力】 ・・それぞれの作品に描かれている情景	・教材「春のうた/夏のうた/	4	0		めに必要な文語のきまりや訓読のきまり、詩歌の形式、古典特有の表現などについて理解している。 [20)] 【思考・判断・表現】・「書くこと」において、自分の体験や思いが効果的に伝わるよう、文章の種類、構成、展開や、文体、描写、語句などの表現のしかたを工夫している。 [A(1)イ] 【主体的に学習に取り組む態度】・四季の詩歌を読むことに興味をもち、詩の形式や表現の特徴を意識しながら、情景や心形式や表現の特徴を意識しながら、情景や心				2
「不物語を受け継ぐ 「知識・技能 小説の読解方法 小説の意識文化への理解につながる読書の 意と 文や文章の中で使っている。 [[11/1] 小記の言語文化への理解につながる読書の 意と 次を文章の中で使っている。 [[21) 方 考え方を提え、内容を解釈する。 「思考・判断・表現] 「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容 「思考・判断・表現] 「記むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。 [B (1) 力] 「学びに向かう力] 「学びに向かう力] 「学びに向かう力] 「書談文字」「「本計] 「事談文字」「「蛇足」 「海線する。 古典や者の表現などについて理解とている。 [B (1) 力] 「本計 [訓読のきまり] 「「本計 [訓読のきまり、古典ので化との関係について理解している。 [1 (2) ア) 「 本計 [訓読のきまり、古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまり、古典や有の表現などについて自分の考えをもっている。 [[2 (2) ア) 「	700	【知識・技能】 ・古典の世界に親しむために、古典、古典の世界に親しむために、古男、古識を持有の表現など語のきまり、古書、出版・「と」になって理解する。 ・「語むこと」にお容や構成に捉えをいて、なを基にのの見などる。 ・「話むこと」において、大乗開などる。 ・「話むこと」において、た場に出いて、なるものの見をを解釈する。と、なるものの名を解釈する。(学びに向かう力】・作品に興味をもち、事件の展開や	説話文学の読解方法 ・教材『今昔物語集』「阿蘇の 史」			0	・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまり、古典特有の表現などについて理解している。[〔2〕ウ〕【思考・判断・表現】・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基にい確に捉えている。 [B(1)ア] ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。[B(1)イ] 【主体的に学習に取り組む態度】・作品に興味をもち、事件の展開や登場人物の	0	0	0	4
【知識・技能】 ・常用漢字の認みに慣れ、主な常用 漢字を書き、文や文章の中で使う。 ・教が『夢音の意義と効用について理解 を深める。 ・現が国の言語文化への理解につな がる読書の意義と効用について理解 を深める。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、作品や文章に表れているのの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈する。 ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の特色について評価する。 【学びに向かう力】 ・言葉がもつ価値への認識を深め、言葉がもつ価値への認識を深め、言葉をとおして他者や社会に意欲的に関わろうとしている。 【学びに向かう力】 ・言葉がもつ価値への認識を深め、言葉がもつ価値への認識を深め、言葉をとおして他者や社会に意欲的に関わろうとしている。 【学びに向かう力】 ・言葉がもつ価値への認識を深め、言葉をとおして他者や社会に意欲的に関わろうとしている。 【学びに向かう力】 ・音楽がもつ価値への認識を深め、言葉をとおして他者や社会に意欲的に関わろうとしている。 【知識・技能】 ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化と外国の文化との関係について理解する。 ・古典の世界に親しむために、古典・教が「訓読のきまり」「格言」「再読文字」「蛇足」「論語」 ・一人1 台端末の活用 等 ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の可を使っている。〔日(1) 1 ・ 我が国の言語文化への理解につながる読書の意義と効れている。 (日) 4 7 ・ 「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の仕方、表現の特質でもが国の文化と外国の文化との関係について理解している。 (2) 7 7 ・ 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 (2) 7 7 ・ 「読むこと」において、理解している。 (2) 7 7 ・ 「記述した」において理解している。 (2) 7 7 ・ 「読むこと」において理解している。 (2) 7 7 ・ 「読むこと」において理解している。 (2) 7 7 ・ で表す文表であままりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 (2) 7 7 ・ 「読むこと」において、理解している。 (2) 7 7 ・ で読え、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをも、訓読に意欲的に取り組		定期考査		- 1	0	0		0	0		1
「お漢字に親しむ		【知識・技能】 ・常用漢字の読みに慣れ、主な常月 ・常用漢字の読みに慣れ、主な常う。 ・常用漢字を表文や文章の中で使う。 ・我話書の意義と効用について理解 を表さ言語意と効用について理解 を認める。 【思考・出と」において、、作品やじまれてといる起え、内容を解す る。 ・「読れている起え、内容を解す る・「読明と」において、実現の で、美現の仕方、表現の特色 に一般順に表現のの認識を深が に学び葉がもつ他の認識を深刻、 言葉をとおして他者や社会にあい的	小説の読解方法 ・教材『羅生門』			0	・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。 [(1)イ]・我が国の言語文化への理解につながる読書の意義と効用について理解を深めている。 [(2)カ] 【思考・判断・表現】・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 [B(1)イ]・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。 [B(1)ウ] 【学びに向かう力】・言葉がもの価値への認識を深め、言葉をとおして他者や社会に意欲的に関わろうとしてい	0	0	0	8
・漢文に興味をもら、訓試に息飲的に取り組もうとしている。	1	8 漢文に親しむ 【知識・技能】・ ・ 我が国の言語文化の特質や我が国いて理解する。 ・ 古典の世界に親しむために、古典や記述のきまり、古もの世界に殺する。 ・ 古典の世界に親しむために、古典や記述いきまり、古る。 ・ 世帯がきまり、古る。 ・ 「他のの人容をが感じたいて、作品のの内容をが感じたが、自分深のも、我を 【思読むこちを分のも、我をを感じた。 「一、ないで、ないで、ないで、ないで、で、は、自分である。 、こので、ないで、ないで、ないで、は、自分では、自分では、自分では、自分である。 ・ 漢文に、自分では、自分では、自分では、自分では、自分では、自分では、自分では、自分では	漢文訓読の基本 ・教材「訓読のきまり」 「格言」「再読文字」「蛇足」 『論語』			0	・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。 [(2)ア] ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 [(2)ウ] 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考えをきっている。 [B(1)オ] 【学びに向かう力】		0	0	5
定期考查 ○ ○ 1	1 14			(0	0		0	0		1

	9近代文学に触れる 【知識・技能】 ・我が国の言語文化に特徴的な語号につまで埋し、それらの文章の中です使うで生まれらの文化的背便を表している。大変を磨き語彙をといている。 ・我が国の言語文化への理解につ理解といる。 ・我が国の言語文と効用についるではあれる。 ・我が国の言語文とがる。 ・我が国の言語文化への理解につ理解とながる。 ・我が国の言語文とがる。 ・我が国の言語文化への理解につ理解とながる。 「思考読むこと」において、表現の特色に四、に表現している。 【学びに向いて許している。 【学びに向いましている。 【学びに向いている。	・指導事項 小説の読解方法 ・教材『夢十夜』『形』 ・一人 1 台端末の活用 等		0	【知識・技能】 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。[(1) ウ] ・我が国の言語文化への理解につながる読書の意義と効用について理解を深めている。[(2) カ] 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現のしかた、表現の特色について評価している。[8 (1) ウ] 【学びに向かう力】 ・作品に興味をもち、作品の表現に注目しながら読もうとしている。 ・元になった古典作品との比較に興味をもっている。		0	0	9
3 学期	10 ことばを生きる 【知識・技能 ・文章の意味は、文脈の中で形成 される意味は、文脈の中で形成 されるきを理解している。 【思表・判断ととは解して、文章の 構成や展開、表現の仕方、表。 【学作場ののいかうか】 ・作品ののはでいたりしている。 【学作場のかったもりしている。 【学作場のかったりして、表 の経験を振り返り、まった。 、まの経験を振り返り、まった。 、まの経験を振り返り、まった。 、まの経験を振り返り、まった。 、たりして、、深め の経験を振り返り、、まった。 ・分の経験を振り返り、、。	・指導事項 随想の読解方法 ・教材「祖母が笑うということ」 「ことばは光」 ・一人1台端末の活用 等		0	【知識・技能】 ・文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。 [(1) エ] 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現のしかた、表現の特色について評価している。 [B(1) ウ] 【学びに向かう力】 ・時代背景や歴史的事実に興味をもち、筆者の考えを読み取ろうとしている。 *筆者の経験やものの見方を読み取ることに教務をもち、自分の考えを深めようとしている。。	0	0	0	7
	1 1 物語の広がり 【知識・技能】 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために、想要な文語のいて 理解する。 【思考・判断・表現いて、東京記述を出まれて、大変での 種類を踏まえて、内容を基に的などについて叙述を基にいて叙述を基にの強などに、内容を基に的などに、「読むこと」において、表現の性友、表現の性方、表現の性のにの、表現の特色について評価する。 【学びにに興味をもち、登場人物の行動や場面の展開、和歌に表れた心情を読み取る。	・指導事項 古典(物語文学)の読解方法 ・教材『伊勢物語』 ・一人1台端末の活用 等		0	【知識・技能】 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 [(2) ウ] 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 [B(1)ア] ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。 [B(1) ウ] ・「信い方) ・作品に興味をもち、登場人物の行動や場面の展開、和歌に表れた心情を読み取ろうとしている。	0	0	0	5
	定期考查		0	0		0	0		1 合計 70